

平成 29 年 9 月 13 日

滋賀県がん診療連携協議会

平成 29 年度 第 2 回 がん登録推進部会 議事概要

日 時： 平成 29 年（2017 年）9 月 13 日（水） 16：00～17：00

場 所： 滋賀県立成人病センター 新館 11F 会議室

出席者： 稲富理、中川聖子（滋賀医科大学医学部附属病院）

廣瀬哲朗、森明子（大津赤十字病院）

八木勇紀、^代 青木（公立甲賀病院）

龍見謙太郎、志井千明（彦根市立病院）

大橋依子（市立長浜病院）

^代 八木（高島市民病院）

木原明生、寺田貴子（市立大津市民病院）

^代 鯉江淳美（草津総合病院）

福森亮介（済生会滋賀県病院）

土屋邦之、大西真（近江八幡市立総合医療センター）

楠井隆、吉田純（長浜赤十字病院）

太田裕之、太田悦子（東近江総合医療センター）

八木政廣（滋賀県がん患者団体連絡協議会）

財間正純、田中一史（滋賀県立成人病センター）

欠席者： 武田佳久（高島市民病院）

伊藤良治（草津総合病院）

片山政伸（済生会滋賀県病院）

野坂明子（滋賀県健康医療福祉部健康医療課がん・疾病対策室）

嶋田宏之（滋賀県立成人病センター）

（敬称略）

【議題等】

1. 2016 年全国集計データ提出前相互チェックの結果【資料①】

- ・ 13 病院からの収集データ 10,494 件についてチェックし、単項目の疑義や複数項目間の矛盾など 2,327 件のコメントを付与して、各病院にフィードバックした。

2. 2015 年症例の集計および全国集計との比較【資料②】

- ・ 前回の部会で確認した 2015 年症例の本県の 13 病院の集計と、8 月 9 日に国立がん研究センターが公表した「がん診療連携拠点病院 2015 年全国集計」を部位別に比較した資料を確認した。
- ・ 一部表記誤りがあったため、修正のうえメールにて部会員に最終確認をお願いした後、滋賀県がん診療連携協議会のホームページに公表する。

3. 院内がん登録 2008 年症例の施設別 5 年相対生存率公表について【資料③】

- ・ 8 月 9 日に国立がん研究センターが公表した施設別の「がん診療連携拠点病院 2008 年 5 年生存率集計」は病院個別の表で、生存率に影響を与える指標として、性別、年齢階層、病期なども示されているが、一覧表示はされていない。
- ・ 公表された集計をもとに、近畿の病院の 5 年相対生存率と I 期Ⅳ期比をまとめた資料を確認した。5 年相対生存率が高い病院では I 期Ⅳ期比が高い傾向が顕著であった。
- ・ 2008 年症例生存率集計のためのデータ提出は本県からは 3 病院のみであったが、2009 年症例では 5 病院が提出している。
- ・ 単年の施設別集計では統計に十分な症例数を得にくいことから、2009 年症例は 2008 年と 2 年分併せて集計される予定である。
- ・ 国のがん対策ではこのような集計結果は今後も公開の方針であり、データ提出病院は集計結果を適正に解釈し、説明していく必要がある。

4. PDCA（がん登録情報の活用）にむけた取組について

- ・ 研修会（1/29、3/1）で Excel や PowerPoint の実務演習を行う。
- ・ 実務者の負担にならないよう、まずは院内でのデータ活用（実績報告、会議資料など）に取り組む。
- ・ 将来的には、院外への広報、がん対策基本計画などへのデータ活用を目指していく必要がある。
- ・ 第 3 回部会で今年度の各病院の取り組みを集約し、評価する。

5. 全国がん登録への届出

- ・ 使用を停止していた全国がん登録オンライン届出システムは 8 月に復旧したため、接続済みの病院はオンラインで届出、未接続の病院は CD 等を郵送してください。
- ・ 院内がん登録全国集計の Web システム（品質管理ツール）でデータ提出した際に作成される全国がん登録届出用のファイルを、電子届出票（PDF ファイル）に添付して送ってください。

以上